

長久手・星が丘両キャンパスの大学祭実行委員会委員長が第50回淑楓祭を振り返り、  
これからの淑楓祭への希望を込めて、それぞれレポートをまとめました。

## 長久手キャンパス 大学祭実行委員会



はっぴーステージ



書道パフォーマンス



学内装飾



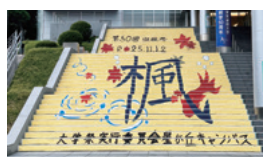
模擬店

今年度、淑楓祭は第50回を迎え、「楓」をテーマに掲げました。淑楓祭という名称は、愛知淑徳の「淑」にキャンパスを象徴する樹木の「楓」を組み合わせたもので、これまで大切に引き継がれてきました。そして、楓の花言葉には「美しい変化」「大切な思い出」という意味があります。今年度の淑楓祭では「第50回という節目にふさわしい変化を与え、関係するすべての方にとって忘れがたい思い出となるように」という思いをテーマに込め、キャンパス内を「楓」をイメージした装飾物で彩りました。

開学以来、コロナ禍も乗り越えて続いてきた淑楓祭は、受け継がれる伝統を大切にしつつ、より良い形を追求して毎年進化を続けています。今年度も、昨年からご好評をいただいた縁日企画をはじめ、模擬店による油そばやたまごの販売、さまざまな団体によるステージパフォーマンスなど、いずれも大盛況となりました。その結果、7571人の方にご来場いただき、両日多くの笑顔が輝いて、実行委員として大変嬉しく思っています。

最後に、淑楓祭を開催するにあたりご尽力くださいましたすべての皆様に、実行委員一同心からお礼申し上げます。

## 星が丘キャンパス 大学祭実行委員会



階段装飾



よさこい探究会「鳴鶴」



星ヶ丘軽音楽部



子ども企画

今年度の淑楓祭は、開学50周年という節目であり、より多くの方にお楽しみいただけるよう全力を注ぎました。テーマの「楓」には、花言葉の「美しい変化」「大切な思い出」という意味があり、淑楓祭に関係するすべての方にとって忘れがたい思い出になってほしいという私たちの願いが込められています。

今年度は、屋外のオープンスペースに特設ステージを設置しました。構内に音楽が響きわたり、より一層盛り上がりを見せました。ステージにアーティストの方々をお呼びしたり、企画数を増やすなど、新しいことにチャレンジした結果、総来場者数2950人と昨年度よりも多くの方にお越しいただきました。さらに、さまざまな団体が参加した模擬店や、漫画家・文筆家・画家のヤマザキマリ様による開学50周年特別記念講演会なども、来場者の皆様からご好評をいただきました。

第50回を迎えた淑楓祭が、引き続き多くの来場者の方々に楽しんでいただけるよう、来年度以降も力を尽くします。

最後になりますが、ご協力くださった関係者の皆様、お越しくださったすべての皆様に、実行委員一同心よりお礼申し上げます。